ふれあいネットワーク

JOSO ふくし

SOCIAL WELFARE

2010.December.16
vol. 16

平成 22 年 12 月16日発行
常総市水海道天満町2472
☎23-2233　FAX23-2234

社会福祉法人**常総市社会福祉協議会**
市民・福祉センター「ふれあい館」内
http://www.joso-shakyo.jp　E-mail info@joso-shakyo.jp

今年も会場いっぱいの来場者がありました。（ふくし祭り）

もくじ

日常生活自立支援事業のご案内 …… 2
いってみてきいて …… 3
ちょっとおじゃまします …… 3
地域のたまり場・社協支部通信 …… 4
北から南から …… 5
いんふぉめーしょん …… 5
ボランティア 市民活動ひろば …… 6
在宅福祉サービスせいむ …… 7
さんぽみち・案内地図 …… 7
あなたのハート・まんが …… 8

「今年も待ってたよ」活動にも力が入ります。

○×クイズ「常総ふくし発見！」何問できたかな？

赤い羽根募金　この広報紙は、赤い羽根共同募金の一部で作られています。

あなたの「あんしん」のお手伝い
～日常生活自立支援事業～

こんなことで困っていませんか？
支援員がお手伝いいたします。

○計画的にお金が使えない
支援員と相談しながら、お金の使い方を決めていきます。

○銀行の手続きがめんどうだ。介護等の契約が難しい。
預貯金の出し入れ・税金や医療費の支払い・年金受領の手続きや、介護事業所等との契約のお手伝いをします。

○最近物忘れが多くて、大事な書類をなくしてしまう。
大切な書類や通帳、実印などをお預かりいたします。

利用料はかかりますか？

はい、**1時間当たり900円**の利用料がかかります。

どんな方が利用できますか？

自分ひとりでは、契約や生活費の管理をすることに不安がある認知症や知的･精神障がいのある方です。

利用したい時はどうすればいいですか？

まずは、**常総市社会福祉協議会**にご相談下さい。

電話（23）－2233

今までは、いつも銀行に自分で下ろしに行っていました。でも、しょっちゅう、通帳や印鑑をなくしてしまったり、下ろしてきたお金をどこかにしまい忘れてしまったり・・・。
そんな事が多くなってきたので社協に相談しました。今では、定期的にお金を持って来てくれるので安心です。

生活支援員の声

生活支援員になって1年が過ぎました。最初の頃は、銀行の窓口に行くだけでドキドキし、しかも他人のお金を扱うので気が重かったです。しかし利用者の方は、毎月訪問する私を待っていて下さいます。生活費を届けるだけでなく、おしゃべりをしたり、時には一緒に悩んだりと、私自身もいろいろな事を学ばせてもらいました。
今は、待っていてくれる人がいることに励まされて活動をしています。

生活支援員　染谷　由利

広報委員の いって みて きいて

手と手がつながって25年

手話サークル〝水海道手の会〟が、長年のボランティア活動の功績を認められ、9月25日に厚生労働大臣から感謝状が贈られました。

市役所の一室に、前田会長と7名の会員が出席して、社協の会長でもある長谷川市長より感謝状と記念品が手渡されました。今回表彰されたのは、全国で49団体。県内では、ただ一つと言う事です。

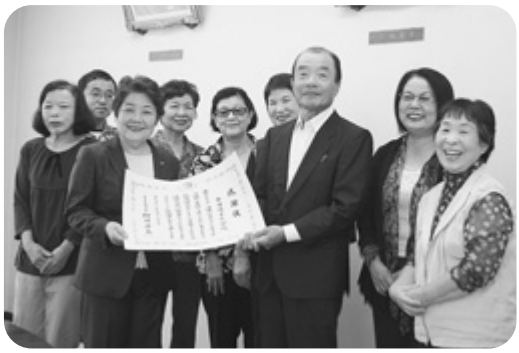
「ボランティア活動は大変ですが、これからも一丸となって楽しみながら手話を広めてください。」と市長からの祝辞がそえられました。

手の会の発足は、1985年の4月。第一回社協開催の手話講習会の受講者16名ほどでスタートしました。当初は、手話劇や手話ダンスに取り組んできました。最近は、小中学校の福祉体験、手話講習会や、社協主催の〝ふくし祭り〟など様々なイベントにも参加しています。現在のメンバーは聴覚障がいの方1名を含め45歳から88歳の男女20名。毎月第2第4木曜日の定例会では、なごやかなムードの中手話を学んでいます。

「今までの活動が認められ、受賞できてうれしいです。これからも努力をして続けていきたいです。聴覚障がいの方や、若い方にもっと参加してもらいたいですね。」と前田会長が話してくれました。

ずっとつながってほしいですね。

広報委員　植木　邦江



▲受賞を喜ぶ手の会の皆さん

広報委員の ちょっと おじゃします!

最近は身近になった「エコバック」。普段何気なく捨ててしまうチラシやポスターなどからバックを作る教室を開いている、古矢旭さんにお話を伺いました。

エコバック教室を始めたきっかけは?

紙は大事な資源「もったいない」から始めました。作り方を覚えてしまえば、誰でも簡単に作れることを知り、ボランティア活動の一環として、昨年から水戸市内で教室を開きました。

エコバックの魅力はどんなところですか?

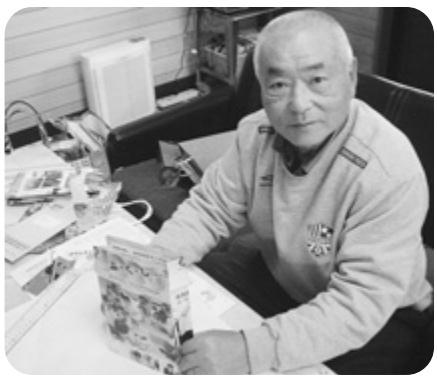
指先の作業は脳の活性化にも良いので、1日1個作るようにしています。又、気に入ったポスターや、旅先やイベントのパンフレットで作ったりすると思い出にもなります。そのエコバックにお土産を入れ差し上げるととても喜ばれる楽しさがあります。

今後の活動についてお聞かせください。

現在は水戸方面のみの教室ですが、今後は、常総市全域に広めていきたいと思います。三妻地区には16の公民館があります。まずはそこからスタートしたいと思っています。

取材に応じていただきありがとうございました。「ふくしJOSO」の広報紙を用い一緒に作ったエコバックは不器用な私にも簡単に作る事ができました。今後の活動を応援しています。

広報委員　片野　和弘



▲エコバックを作る古矢旭さん（中妻町）

▲簡単に作ることができました

ふれあいのまちづくり 地域のたまり場 紹介ひろば

〝ふれあいサロン・地域のたまり場・福祉カフェ〟など呼び名は様々ですが、地域での交流を目的とした動きが、あちこちで始まっています。

今回の〝紹介ひろば〟では、豊田東部・西部地区で年4回のサロンを開催している「椎木（しいのき）お茶のみサロン」を運営している皆さんを訪ねお話しをうかがいました。

「椎木お茶のみサロン」は平成20年9月に始まり、3年目に入ったところです。もともとは地域の若妻の集まり「すみれ会」として活動していました。〝以前の若妻〟が、交流が少なくなった地域のために何かできないかと考えていたところ、「サロン活動」なるものを社協から勧められたのをきっかけに始まりました。最初は何も分かりませんでしたが、会員の皆さんとワイワイガヤガヤ活動しているうちに、だんだんと形になってきています。

現在では80歳以上の高齢者が19名参加しています。「いきいきヘルス会」の皆さんによる健康体操や、包括支援センターの健康についてのお話しやレクリエーションなどで楽しく過ごしています。

〝椎木〟の皆さんは、「これからも地域の方と一緒に無理をせず、楽しくサロンを続けていけたらと思っています。」と話をしていました。

▲ ふうせんを使ったゲーム

社協支部通信

現在、社協には27の支部があります。より地域に密着した福祉活動を進めるため、様々な事業を行っています。

豊田支部

地域の安全・安心の一つとして
～救命講習会～

豊田地区南部自治会の皆さんを対象に「救命講習会」を開催しました。参加者15名が4グループに分かれ、応急手当普及員の指導のもと救命措置として「心肺蘇生法」と「AEDの扱い方」を学びました。

恥ずかしがらずに大声を出し、近くの協力者を求め、とにかく早く応急手当をすることが大切なことです。皆さんの地域でも開催してみてはいかがですか？

岡田支部

地域ぐるみで福祉のまちづくりに向けて
～福祉のつどい～

岡田地区の住民を対象に『福祉のつどい』を岡田文化センターで初めて開催しました。小倉洋子氏（つくば市在住）を迎え、「ともに支えあう地域づくり」と題して、介護とは…福祉とは…の講演に、時には真剣に、時には笑いありのお話しに耳を傾け、その後岡田幼稚園の園児による歌や踊りの発表に元気をもらいました。

100名以上の参加があり、参加した皆さんはとても満足した楽しいひとときを過ごしました。

「イヤッサッサー！」琉球太鼓が胸を打つ

会場いっぱいに響き渡る太鼓とかけ声。沖縄民族衣装をまとった10人の女性たちが、力強い、そしてみごとなバチさばきで観客を魅了しました。

先日、市民会館で行われた映画「稲の旋律」のオープニングで披露された沖縄琉球太鼓。演奏したのは、市内にある「ダルク女性シェルター茨城」で薬物依存症からの回復、社会復帰を目指している皆さんです。

ダルクでは、沖縄琉球太鼓をリハビリプログラムの一環として取り入れ、地域との関わりや社会貢献のためにボランティアで公演活動を行っています。

片手では抱えきれないくらいの太鼓を持って踊りながら、皆の動きをぴたりとそろえる。練習量を伺ったところ、「基本は週に1回、2時間だけですが、みんな自主練習をやっています。」とのこと。あの動きは努力の賜物（たまもの）だったのですね。

▲ 力強い演奏で観客を魅了しました

公演以外でも、近隣の施設に出向いてお手伝いなどをしているそうです。

「大切なもの、たくさんのものを壊してきてしまった。」と、今までの自分と真剣に向き合い、社会復帰のために努力している彼女たちの姿には、胸を打たれるものがありました。心からエールを送りたいと思います。

広報委員　大津　礼子

心身障害者福祉センター

中妻町2643-1
TEL 22-9400

刺し子　はじめました

新たな自主製品として刺し子の制作をはじめました。他の作業の合間に少しずつ縫っているのでたくさんは作れないのですが、ふくし祭りにはコースターやランチョンマット、バッグなどを出品することができました。

多くの方に購入していただき、「きれいにできているわね。」「時間がかかるでしょう。」と声をかけていただきました。利用者さんの自信になったようです。

しゃふぉめーしょん

三坂児童館

三坂町402-1
TEL 22-7937

一緒にはじめませんか？

地域の憩いの場として、４月から「いきいきヘルス会」の協力を得て、６５才以上の方を対象にシルバーリハビリ体操を行っています。指導員の楽しいお話と肩や腕を強くする体操や、お口や舌の体操など内容はもりだくさんです。興味のある方は、ぜひ気軽にお問い合わせ下さい。

社協（しゃきょう）は社会福祉協議会の略称です

ボランティア・市民活動 ひろば

お問い合わせ先
ボランティア・市民活動センター（社協）まで
TEL23−2233　FAX23−2234
http://www.joso-shakyo.jp/volunteer_center/

大盛況!!　広がったね、ふくしの輪

11月14日、市役所水海道庁舎構内で、今年で26回目となる「ふくし祭り」を開催しました。

当日は、ボランティアグループや福祉施設など45団体が参加し、活動PRや模擬店、ステージ発表などを行い、どのコーナーもたくさんの人で大盛況でした。

ステージでは、この日のために練習してきた演奏や、ダンス、リハビリ体操などが披露され、来場者の皆さんの笑顔があふれる楽しい１日になりました。

▶華やかな衣装で、フラダンス

◀ふくし体験スタンプラリー（点字体験）

社会福祉援護功労団体表彰 受賞おめでとう！

◀陽だまり

◀あじさいの会

先日、茨城県福祉大会において、社会福祉に貢献した団体として、下記のサークルが表彰されました。

受賞したサークルからは、「活動の励みになります。」「続けてきて良かったね。」などの声がありました。

陽だまり（県知事表彰）
月１回、内守谷公民館において、
高齢者を招き食事会を開催しています。

あじさいの会（県社協会長表彰）
高齢者に手作りのペーパーフラワーを
プレゼントしています。

講演会のお知らせ

介護の不安を行動に変える知恵

大公開！

期　日：平成23年１月29日(土)
時　間：午後１時〜午後４時
会　場：生涯学習センター（水海道天満町）
内　容：NPO法人パオッコ理事長
　　太田差恵子氏 講演会
参加費：無料
主　催：常総ボランティア連絡協議会

※問い合わせはセンターまで

ボランティア講座に参加してみて…

受講者の声

車いす体験などの指導 指導者育成のため開催した「ふくし体験サポートボランティア講座」の受講者からの感想を紹介します。

「実際に車いす体験をして気づいたことがたくさんありました。サポートする側と、される側は、お互いに近い存在であるべきだと、この講座に参加して実感しました。指導ボランティアとして、まず一歩を踏み出していきたいですね。」

鈴木悦子さん（坂手町）

会員制の助けあい　在宅福祉サービス　せいむ

▲ 交流会では、日頃の活動についてききました

在宅福祉サービス講座・交流会を開催しました！

「困ったときはお互いさま」そんな気持ちで在宅福祉サービス「せいむ」は活動しています。

８月27日に、「誰かのお役に立ちたい」という方を対象とした、在宅福祉サービス講座と、既に活動している協力会員を対象とした在宅福祉サービス交流会を開催しました。

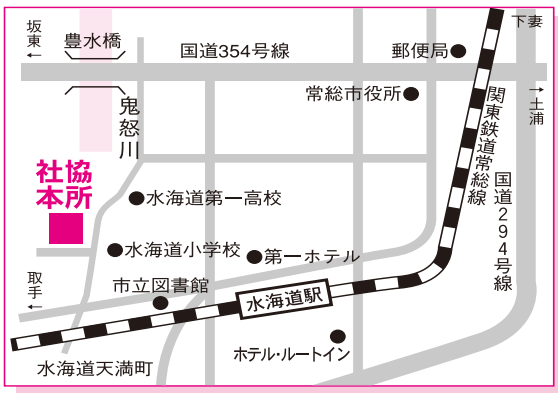
在宅福祉サービス講座を受講された方も交流会に参加し、先輩協力会員の体験談など生の声を興味深く聞いていました。

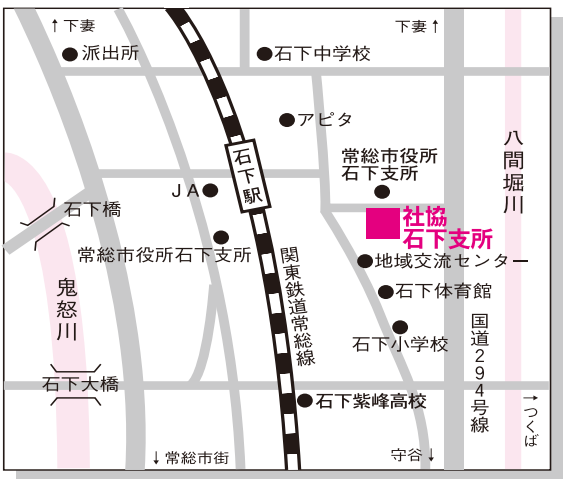
参加者の声

協力会員
斉藤　由里子 さん

空いている時間で自分にできることがあればと、在宅福祉サービス講座に申し込みました。受講することで家事など慣れている事でも、訪問先で気をつけた方が良い点などが分かりました。先輩協力会員との交流会では、活動先での工夫を聞けたり、道で会っても挨拶（あいさつ）したりと、同じ活動をする知り合いができて良かったです。現在２軒のお宅にお話し相手として伺っていますが、楽しく続けていきたいと思っています。

社協事務局はここにあります





さんぽみち

子どもの頃、地面に穴をあけて「どこまでも掘っていくとアメリカにいくんだってよ」と言って遊んだ記憶があります。

その地球の裏側南米チリで起きた鉱山の落盤事故は、世界中の注目を集めました。地下に残された33名の気持ちを思うと、想像を絶するものがあったと思います。

高度な掘削技術の駆使と世界各国からの応援を受けて、1人目が救出された時、我が子を抱きしめていた映像には目頭が熱くなるのを覚えました。もし救出口の掘削が100分の1ミリの誤差を生じたとすると、700メートル先では7メートルのずれになり、救出も難しくなってしまいます。尊い33名の命が無事に地上に戻って来られた時は、ホッと胸をなでおろし、思わず絶大な拍手を送っていました。

広報委員　中村　勝弥

社協（しゃきょう）は社会福祉協議会の略称です

三つ編小僧

その2

エコも計画的に　月灯高雅（つきあかりたかまさ）

みんなに伝えたい あなたのハート

「社会福祉のために役立てて下さい」と
皆様から社協へ寄せられた善意は次のとおりです。
ありがとうございました。

平成22年9月8日から12月8日（敬称略）

現金	
㈱オリエンタル商事	53,781円
利根コカ・コーラボトリング㈱	11,887円
ネットワーカー常総市	22,000円
ＪＡ常総ひかり水海道地区センター	16,381円
常総市生涯学習課	580円
市民カラオケ祭	18,045円
キヤノンファインテック労働組合	4,015円
日本キングス・ガーデン	3,000円
すぎの子	5,000円
常総市母子寡婦福祉会	5,000円
山の音	3,000円
まちの研ぎやさん	10,206円
あじさいの会	3,000円
匿名	1,000円
カラオケステージ交流会	72,556円
水海道消防署「消防まつり」	19,530円
豊岡町砂浜ゴルフ会	10,000円
サークルひまわり	5,000円

物品	
麗都水海道	お菓子
キヤノンファインテック労働組合	未使用はがき

水海道さくら病院、正和産業坂手営業所、スズキ印房、特別養護老人ホーム よしの荘、五木田悦郎、倉持きみ、前田光雄、議会事務局、三菱マテリアル筑波製作所、陽だまり、ガールスカウト茨城県第40団、本橋道子、匿名
以上書き損じはがき、使用済みプリペイドカード、使用済み切手など

◀「常総ふるさとまつり」の売上金から寄付をいただきました。（ネットワーカー常総市）

受賞おめでとうございます

長年にわたり社会福祉事業に功労した左記の方々が表彰されました。ますますのご活躍を期待しています。

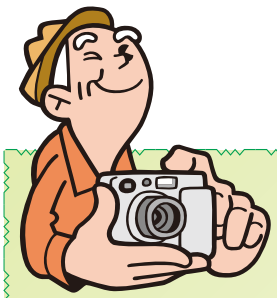
◇厚生労働大臣表彰
水海道手の会（団体）

◇茨城県知事表彰
片野榮子　古矢邦夫　飛賀野文子
七井康彰　岡野幸枝
陽だまり（団体）

◇茨城県社会福祉協議会会長表彰
萩原恒夫　石塚政榮　内藤悦子
小林勝子　横川やい子　堀込きぬ江
尾崎澄子　小島百合子　北村　仁
入山　亮　飯村廣吉　小林美智子
石塚桃代　草間幸之　中茎美枝
小泉茂子
あじさいの会（団体）

◇茨城県社会福祉協議会会長感謝
古河ヤクルト販売株式会社

（敬称略　順不同）



ようこそ歴史の旅へ！
～講座のお知らせ～

各地域の歴史を訪ねる高齢者専門講座「歴史探訪」の受講生を募集します。
講座は、３日間で１講座となります。

日　程：１月２８日（金）　結城市
　　２月１８日（金）　栃木市　※各所とも、現地の観光案内人がご案内します。
　　３月１８日（金）　古河市
対象者：市内にお住まいの60歳以上の方。個人または３人までのグループで申し込み下さい。
　　ただし、21年度の参加者、22年度前期・中期参加者は、申し込みできません。
定　員：20人（定員を超えた場合は抽選）
参加費：200円（保険料）その他入館料、教材費などにかかる費用及び食事代は受講者負担。
申込み：１月７日（金）までに常総市社会福祉協議会本所へお申し込み下さい。